

会派 黎明 吉岡 鳴人 議員

1 多極ネットワーク型コンパクトシティについて

- (1) 「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の取組の具体的な進捗状況を示されたい。
- (2) 本市の独自に設定する区域として「地域生活拠点維持区域」があるが、区域外におけるコミュニティの維持をどのように考えるか。また、市民にどの程度理解浸透しているのか、地域ごとに解りやすい説明会を実施すべきと考えるが見解を示されたい。

2 農業政策について

- (1) 農業者の減少や耕作放棄地が拡大し深刻化する中、令和5年4月、農林水産省は人・農地プランを法定化し、農地利用の姿を明確化する地域計画の策定を定めている。そこで、地域との話し合いによる地域計画について進捗状況と、本市が目指す将来の姿について示されたい。
また、地域内外から農地の受け手を幅広く確保する取組について示されたい。

3 福祉政策について

- (1) 厚生労働省は地域共生社会に向けた、包括支援及び多様な参加・協働の推進として、令和3年4月に「重層的支援体制整備事業」を施行した。本市においては本年度の移行準備事業を経て、来年度から本格実施するとなっているが、現状と課題及び新たな機能の取組方針と、事業展開について示されたい。
また、他分野や関係団体をはじめ、様々な社会資源や人を結び付け、協働体制を図るべく地域共生推進の組織設置を構築する考えはないか。

4 海上自衛隊鹿屋航空基地の大規模改修工事について

- (1) 自衛隊施設の強靱化に向けて、海上自衛隊鹿屋航空基地の大規模改修工事が発表されたが、地元業者が工事に優先的に参入できるように、本市としても強く要望するべきと考えるが、見解を示されたい。

5 教育行政について

- (1) 本市における不登校児童生徒は、年々増加している中、現状とその課題はどのようなものがあるのか。
また、それらの課題解決に向けた取組と支援体制の評価、分析及び新たな不登校児童生徒を発生させないための取組について示されたい。

- (2) 令和3年に国の通学路緊急合同点検要請を受け、鹿屋市通学路交通安全プログラムを基にした、本市の交通安全対策の取組の現状と課題を示されたい。
また、早急な対策必要箇所の改善を行うため、国や鹿児島県、各関係機関への連携や対応の現状を示されたい。